

登山岳会
S.A.C.
登山岳会
S.A.C.

信州大学山岳会 S.A.C

Contents

- (1) 小川山 Part 1 & Part 2 ----- 1
- (2) 大雪山 クワウニナイ川 ----- 3
- (3) 前穂 TV 峰 ----- 5
- (4) 笛吹川 東沢 又 沢 ----- 10
- (5) 錫杖岳 ----- 11
- (6) 屏風岩 JECC ルート ----- 14
- (7) 屏風岩 東稜 ----- 14
- (8) 小 槍 ----- 15
- (9) 屏風岩 東壁 ル=セ ----- 18
- (10) 唐沢岳 幕岩 ----- 19
- (11) 日高 縦走 ----- 21
- (12) 越後三山 ~ 尾瀬系 縦走 ----- 29

(1)

小川山 part 1

7/21 ~ 7/24, 大木 - 下田, 三里平

登, トレート, 小川山レイバウツ
(下田, 三野, 角谷)

・グレイジージウム
(下田, 三野, 角谷, T.R)

・シーマンスープロックス, B&W
(三野, 下田) Var (TR)

・カサグランカ
(下田, 三里平)

・ジャックと豆の木
(下田, 三里平)

・JECCILT (マコ岩)
(三野, 下田)

コメント

ジャックと豆の木も下田に
出来たがたは残念で
あるが、今年1月からの
ハードワル大作戦で
順調に登れて来ているので
大満足 (下田)

小川山 part 2

8/4 ~ 8/12, 大木

下田, 加藤, 角谷, 森, 小野, 藤田, 守田

登, トレート

マコ岩のJECCILT ノーブルバリエーション
(5.10d) (5.11a)

・川上小唄 (5.8), ・ムートはイイね (5.8)

・妹岩 ・カサグランカ (5.10a), 龍の子太郎 (5.9), ジャックと豆の木 (5.10b)
・愛情物語 (5.8), カオヤン軌道 (5.10a)

・左岸スラブ = B&W (5.10a), シーマンスープロックス (5.10b)

・親指岩 ・グレイジージウム (5.10c), 天まで上がれ (5.12a)

・最高ルーフの岩峰 ・整周atony (5.10c) 最高ルーフ (5.10c)

・イム岩 ・7-19-3 (5.9+), バナナクラック

・屋根岩I ・5月20日のwedding present (5.11a)

・おもしろスラブ ・3月29日 (5.10a) 無名ルーフ (5.10a) 下マコ岩 (5.10b) 南極 (5.10b)

・五上岩 ・セレクト (5.8) ・~~カサグランカ~~ ・蛇巻糸 (5.11b)

コメント. たいへんよく登りました。二日からは、さらに良いスラブで

登れることを目指しましょう。(下田) -1-

小川山の話。

昔々、まだ人々がイルカを食べていた頃の話、
山には老若男女を問はず、岩に登る人がおた。
お利に大勢だ。たので中には、ハチに刺される奴
もおた。見事に指紋は無くな。た。“犯罪に
はしるなら今だ。”ふは言う。“しかしこんな山の中じゃ”
Kは思う。“ゴーカーかな”Sには肩の張。た
O岩アキ子がピクリ栗をかきしめな。Yがマニル
をした。ダイクに立上。た時、カツの身体は宙に
踊り出た。トップロープでよか。た。よか。ホクも
笑。たけど第一先にも笑。てた。でもYは真剣、S
はココロとセーとクモの糸へ行く。

ココロのりとアルピニズムを導き出すで。
でもおととい涙に。た。た。楽しい思。をした。
グランドフォールを恐。しい。1年のケーは新人
合宿の甚。あり。おわり

(加藤清里)

(2).

北海道大雪山系 クワンタイ川

- ・メンバー：L. 瀬川、豊田、中村(幸)、作道、内田
- ・期間：7/29 ~ 31
- ・記録：

7/28日に札幌から天ノ峠まで瀬川、中村、作道はバイクで、他の2人は電車バス、キャンプアプロ-4。橋の下にいらたし、荷物をテホし、ポンクワンタイ川の出合いでテホをぼる。

7/29

①→② 6:10発 5分ほど歩いてワラジをつける。水量が少。12:30 二俣(カウンス出合)

二俣に近づくと内田がワラジを流す。

二俣では平凡な河原歩きがほとんど。

テホを設営後イワナを釣る。バチが舞い天場は多数ある。あとから来た2人づきの

おじさんたちによれば、あつは日晴れ。

しかも終線に出れば、本州からの女子高生パーティがうじうじといるとのこと。

うんく2 ぬりぬりおひたかた。

7/30

3:30 起

① 5:10発 — 9:04 瀬頭 — 10:40 縦越路と2あり — 12:00 七カ沼天場 (トウワシニは行かず)

7/30 二俣を出発し深が大きく左へ曲がり切れ
 8mの滝があり、その上から滝ノ瀬十三丁が始
 まる。溶岩流の上には一面にコケが生えており、
 その上を深さ15~20cmくらいで水が流
 れる。ワラジをうまきかせないと滑る。途中
 ゆるい滝が何度か出てくるが、滝ノ瀬は
 えんえん一時間近くつづく。途中のワラジで
 みんが泳いだ。ハングの滝とま、二俣の滝も
 まいに深谷川にずいぶん下り、縦線の縦走路に
 出る。ヒサゴ沼にはテオが多くおれ、人が多かった
 が、女子高生にテオはいなかった。ショツ!

7/31
 4:15 ヒサゴ沼発 とほほ
 5:10 化雲岳
 8:30 滝見台
 9:20 天人峽着 とほほ

道は完壁に整備された登山道で日高とは
 まじで違う。山もほとんど台地状。途中ナキ
 ワラジがいた。

- ★注意の点
- 北海道の山は虫が多いので、防虫スプレーは
 絶対に必要。(Tシャツも脱ぎます)
 - ヒグマは運がよければ会える。会ったら
 すぐ下山すること。(北大山岳部におひま)
 - この沢は増水すると遭難する可能性。
 Tから天候に注意し雨が降ったらはいらぬ。
 - ワラジはTシャツ製に限る。

(3). 前穂 IV 峰.

8/3

△ 水谷 中村(9) 下平 入山

8 = 20

○

サマ天

9 = 25

徳沢

11.05

①

松高尾根のつぎ

13 = 50

◎

奥又白池

サマ天生活がたつたのかバテてした

(かし近くで見る 前穂北尾根はかこ良かた

(下平)

8/4

雨のため沈殿

この日 小野 豊田 内田 入山

8/5 IV 峰正面 北条新村 L 小野 豊田

◎

5:30 T.S

7:55 取付

11:30 終了

3:10 T.S

) 6P

ハイマツテラスでパラパラと
雨がふったのかいやだった
あとは快調でした。

(小野)

IV 峰正面 甲南ルート △ 中村(9) 下平.

5 = 25

① T.S

サマ天で232取つぎを探す.

7 = 50

◎

T₁ 登攀開始
T₂ 登攀開始

8 = 10

13 = 45

14 = 20

15 = 30

終了点

5.6 の氷

T.S

* 甲南ルートはルートE誤り

7~9P の雨でした

落石がバカバカと

降、7まで恐ろしかた

TV 峰 正面 松高ルート La 水谷 内田

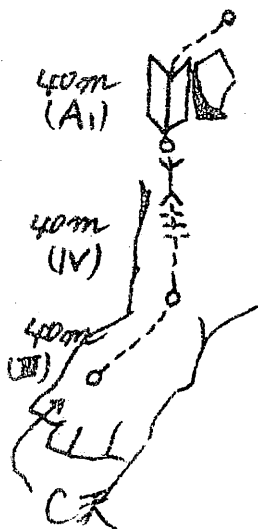
- 5 = 28 T.S ガス
6 = 10 雪溪の中が 体 ガス
7 = 20 取付 ガス
10 = 30 終了 (CF) } 7P
11 = 30 5.6 のコル

この日は前日の天候図に基きと昼二時に頭上を台風が通過する予定であった。そのため今朝からガスで11時取り付点で最初わからなかった。松高ルートは私にとって初めての本知二なので最初どどろいたがなんとか行った。しかし一回アブミを出したがその便の方でわからなかったためとて疲れてしまった。

(内田)

8月6日 下平 奥平 L字洞穴

水谷, 下平



奥又B.C. 4:50 ○
 L字洞穴 取付 6:40 ○ 40m 3P
 終了 8:50 ○
 310m 終了 合 9:10 ○
 全行動 Ⅳのころ 9:40 ○

Ⅲ山 登り始め 10:20 水谷, 下田 } 各行動
 前穂山頂 12:30 中村, 内田 }
 " 登 1:30 三, 木, 三

(A次の下りを間違え 下又自方面に40分程
下り 再び登り返し 2:50 A次下降点)

A次下降 3:30 ◎
 踏替点 5:30 ◎

踏替点より下は雪が切れており
懸垂 40m x 2P

B.C. 6:00 ◎

所見. 8月5日は. L字洞穴, 中大, 明大 の310m ティ コー
出たから 40分後. 統一して 北尾根 ~ 前穂山頂 ~
A次下降 ~ B.C. とした.

A次下降は. 2年以上110m ティ - 70m くらい 一年
かいた時は. 使用した方が良かった. 踏替点
はクリートでできた. 4m からは. 雪溪がスラスラで
懸垂か. Fix が重要で. 前穂 A次の下降点は.
間違いないので注意!! 前穂から 300m くらい 行
くと三本槍 (目印) がみえる. その先のころ 打った. 三
本槍と目印に入ると感でいいは 目印ケルン がみえる (水)

8/6 Bparty 中大ルート L. 中村 内田

4:50 ① T.S 発
6:20 ① 取り付き

↓ 2Pと半分、Ⅲ級

8:30 ① 終了

↳ 以下 Aparty に同じ。

※ 終了付近で 中大ルートの連中と一緒に became しまった。
本日のルートは 一体どこなの???

8/6 明大ルート

L. 三野 小野 豊田

4:55 B.C 発

6:10 取付

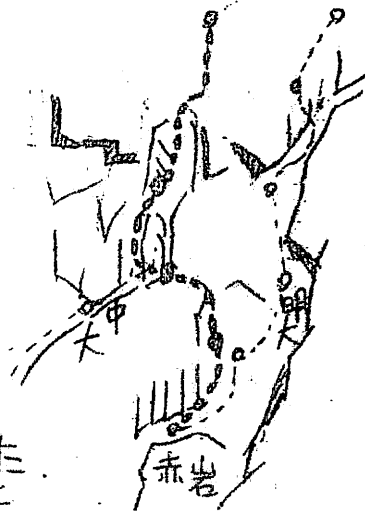
40 取付発) 4P

8:25 終了

① 9:40 3.4の川

10:20 3山峰取付

6:00 B.C



前穂山頂から A 沢を下った
途中で 中大ルートに入ってしまった

8月7日 下山日 奥又白・七上高地

B.C 7:30 発 ①
徳沢 9:20 ①
廿二天 11:00 ①

この日は奥又白から三ツ峠まで下った。朝はいつても
曇りや、くもりで起きてからもよい天気だった。
身しいアインツの大会場まで七-16のまゝでいるがマ
ア-16 向かて松高尾根をかた下り昼前に廿
二天に着いた。午して奥又白七-16はしとてええ
りかたかた。 (19日)

(4)

笛吹川 東沢又ノ沢 左俣右俣

Member) LA 飛田 安田
行程)

8/6

午前中甲府でES買出し.

13:40 安田家発 ①

14:45 バスタミル. バックホ ①

16:20 近丸新道又ノ沢合 ②

西沢渓谷バスタミルまではバイクでも
乗にはいける。バックホイは川岸
だが石も水も平たけは所

8/7

4:30 起床 ①

5:20 出発. 水ワラジをつける ①

6:20 左沢合.

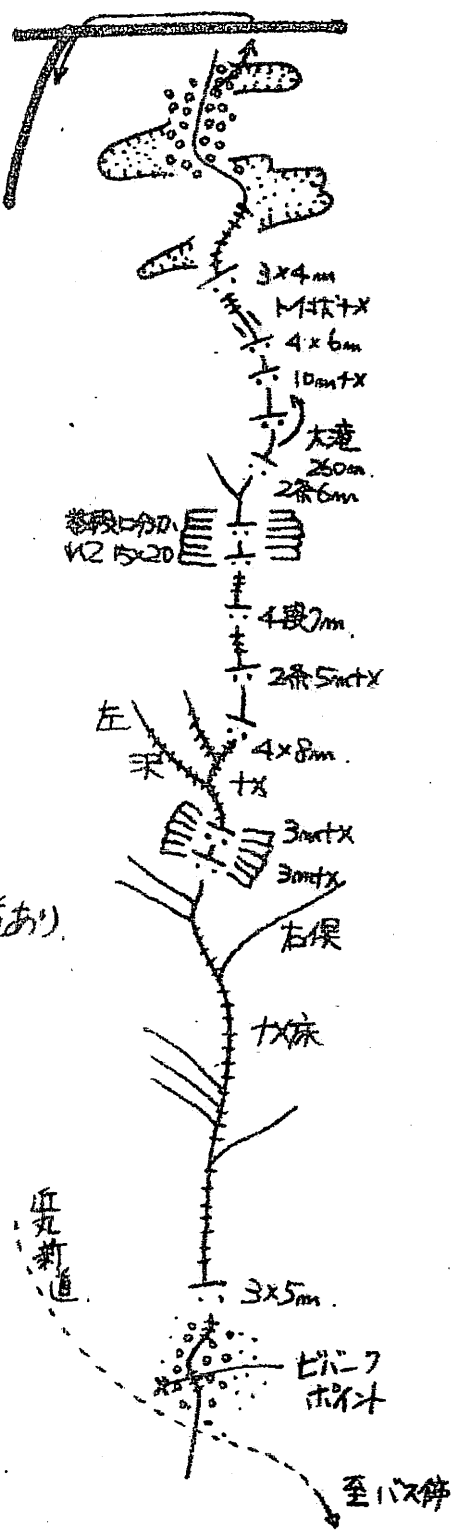
7:40 大滝上 ① 左岸をまくま道あり.

8:50 終了 ② 加.

11:30 バスタミル. ①

大滝の連続した気持ちのよい沢
であつた。アアD-4もらくTJの? BC
をば. 7 沢登りをたのしむことが可

おすめ



(5) 錫杖岳

8/9 ~ /12 Member) LA 船, 三野, 中村(9), 中村(2), 豊田

8/9. 15=15 ① 中尾温泉口
16=05
16=50 錫杖岩小屋

6天可. 錫杖沢をクワヤ谷との
出合から20~30分北沢の出合.

8/10 3ルンゼ

Member) LA 船谷, 豊田.

7=30 BC 着
8=10 ① 取付
12=45 ② 終了
15=30 BC 着

・ルートは大系じあり, 取付は北沢をアスレトランプアスレにいき最初の
は, 正(1ルンゼ), 終了後は3ルンゼのルンゼから登って正(1)と互角ハアツギに
(2ルンゼ)あり, 踏跡をトランプアスレに岩塔のルンゼからFIXロープにきて
アツギルンゼに踏跡をクワヤ谷まで下り, 登りかえしてBCへ.

8/10 Bparty 烏帽子岩前衛一入の才4左入のチムニールト

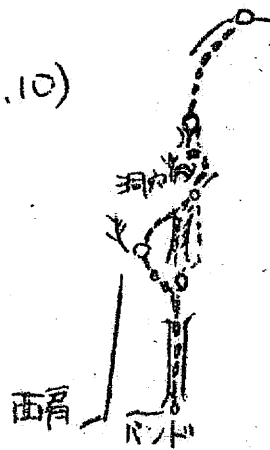
8:00 ① T.S LA 三野, 中村(9)
9:00 ① 取り付き
↓ 9P 核心はかびりむすがいい!?
2:10 ① 終了点
2:30 ① Ⅲルンゼのルンゼよりうらへ懸垂下降
4:00 ① T.S

* チムニールの連続だったが, 実際より左の方へルートを求めてしまった
ような気がする。本番になれていないため, 難かしいと動転し
てしまい, ルートの様子をすっかり忘れてしまった。-11-

8/11. 鳥帽子岩西肩ルート. 山 船. 豊田

- ① 9:00 B.C 発
 10:10 取付
 11:45 終了) 3P (25, 35, 10)
 3:00 B.C 着

下降時 懸垂 30, 50m
 1P目で左に落ちてしまったが
 2P目でもとのルートにもどった。



鳥帽子岩 東肩ルート

M. 山 三野 中村. 中村

- 8:10 B.C 発
 10:30 西肩
 11:00 終了
 13:00 西肩
 14:00 B.C 着

系通りの北 - 山 - 山
 岩壁は...
 ...30分...

8/12. 撤収後 岩小舎で TOPロープをほりホルタリング
 をして遊ぶ。かなり遊べる。

- 10:00 ① T.S
 11:10 ② 槍見温泉

→ 新穂高温泉のただの風呂に入ったのち解散

メモ - 3に 紀行文

必作文 錫杖

“Shakujyo”という響きがイメージするのは、笠ヶ岳の南にぽつぽんとおとすれる人もなく天ちっくしている山でした。まさか自分から遊びな山に行くとは思ってもなかつた。

ところで、いざその山の麓に来てみると誰も采ないではないか。俺はめっちゃいやあせった。アッきり、肩をこきはじめ、皆か、定房の首にぶち落ちたのとはあるまいか、と非常に喜んでいや、悲しんでしまふのだ。しかし、彼らは、やってきた。

ごそごそと、錫杖岩の合間に歩いてくると、林を隔てて、大きな雪が目を眩した。あれが、ごそごそとごそごそと、アッきり、肩をこきはじめ、皆か、定房の首にぶち落ちたのとはあるまいか、と非常に喜んでいや、悲しんでしまふのだ。しかし、彼らは、やってきた。

翌朝、やる気とは、山を降りたばかり寝かして、たまたま、山を降りて行く。山を降りたばかり寝かして、たまたま、山を降りて行く。山を降りたばかり寝かして、たまたま、山を降りて行く。山を降りたばかり寝かして、たまたま、山を降りて行く。

そして、月日は、いつか目覚めると、おとすれる人もなく天ちっくしている山でした。まさか自分から遊びな山に行くとは思ってもなかつた。

おとすれる人もなく天ちっくしている山でした。まさか自分から遊びな山に行くとは思ってもなかつた。

(詞 T. NAKAMURA)

(6) 屏風岩 JECCルンゼ状スラブルート

8/14 L. 角谷、小野

前夜、新人合宿のテニ場に泊まる。

- ① 4:50 T.S
- 5:35 取付) 11P
- 10:50 終了
- ② 1:00 本谷橋

* ルートはほぼ大系通り、下部のスラブ状のところは
 いく通りかルートがとれるようで、ほとんが左岸をい
 に登った。次のピッチ角谷さんがなっていた。
 核心部の2ピッチはホールドやスタンスの細かい
 フェースで、充分フリーでこえられ大変楽しい。
 下降はカモシカ尾根に出してから5Pの懸垂で
 おつられる。支点は木を使った。このルート、上部は
 話にならないほどボロボロで「いやだが」とにかく
 楽しいルートなのでみなさん行ってみてよ (小野)

(7) 屏風岩 東稜

L. 三野、中村(2)

8/14 昼にサマ天を出て、横尾の天場で JECC と小橋の11P-12P のテニ
 に遊ぶ。

8/14	4:50	TS	1P	35m	三	* 人が多く、T ₄ 取付で 1時間待たず、アザザルニで降り るべきだ。たおれと思われる 横尾で三口のXニを食わ たら、T ₄ そのおぼねをT ₄ 次の日の朝サマ天の帰、T ₄ 反省点の多い山行 T ₄ 、T ₄ 。
	7:00	T ₄ 取付	2P	20m	二	
		sp. IV-A ₁		30m	T ₂ ^	
	16:45	終了	1P	20m	三 A ₁	
	17:30	屏風の頭	2P	40m	三 A ₁	
	19:30	横尾のTS	3P	15m	二	
	20:00	横尾	4P	40m	三 A ₁	
			5P	20m	三	
			6P	30m	三 A ₁	

(8) 小槍

Member) 瀨川, 中村, 下平, 作道
行程)

8/3

下平が おおきマシーンの 2台と残り 1台を
17日あるので、予定を 変更して 下平と
作道は、13日のうちに 横尾まで 行くこと
になった。

14:00 サラ天荒

15:15 徳沢

16:30 横尾 (新人合宿 T.S.)

徳沢では、左ウシの人 に スカをもらった。
横尾では 扇風機と いっしょになった。

8/4

今日は 別行動。あつかゆるのが 心配された。

5:25 横尾荒

6:45 槍沢ロッジ

10:00 殺生ヒュウテ (下平・作道)

赤沢山岩小屋 ありまうは 虫合が いろいろ
いたが、後は、だらけて 帰った。

しかし、なんと、人が 多いの だろう! うれし
がる。しかし、明日の アルペン 踊りには
もって いった。晴れよ!

8/4 瀨川と 中村(夕) は サラ天から 殺生へ。

①→② 6:20 サラ天荒 10:00 - 1機 4:00 殺生
途中 瀨川の 調子が 悪くなる。原因は 途中
で 鳥いっぴい 1-7の 女の子?

8/15 小橋 前面左-ス中央ルート (大凹角)

Member) L 瀬川、作道

ガスが濃く、雨も降りつつあるので得機。

10:05	殺生ヒュッテ発
11:50	取り付く) 2ヒュッテ
14:15	終了) 30m, 20m
16:45	橋本峰
17:30	殺生ヒュッテ着

1ヒュッテ目は最初から難しかった。すぐにアビスを出た。小テラスまでは……がハンゴを左へ回りにみところが難しい。二目までは、秀石だらけで、危ない。凹角は、クワック浴いてフリーも可。凹角に入ってから10mくらいで1ヒュッテ目終了。この場所が大系と違うかこのほうが……と思う。

2ヒュッテ目はオムルフリー。岩がもろく滑っている。

ルートは大系どまり。

小橋頂上では、アルペイン踊り、牛の乳1割り春寂寥を披露した。橋本峰、肩の小屋多くの人が見てくれた。来年もやろう。

(作道)

8/15 小橋 左ルート

L 中村 (F) 下平

10:05	TS
11:05	肩小屋
11:30	左ルート取付
14:30	終了) 3P (20, 35, 35m)
17:30	TS

* 左ルートは人工のなかなかなが難しいルートでした。

小橋 on stage は大うけで発表を行いたいと思っております

8/16

9:50 ③ TS.

10:30 ④ 横尾

14:00 カマ天

* 下山するにつれ天気がよくなり楽しい山行に
終止符をうりました。(F平)

紀行文 小槍

その時僕はふびていた。足を振り上げ、腰をひねり
大声をあげ歌った。SAC on the 小槍 stageだ
瀬川 乙が 効三 乙が かつ作道が きて僕を。歌い
踊り ほとぼる汗。これが青春なんだ。大勢の観客達
の声援。アノールの嵐。僕達は希冀と軽バフ
の目と一身にあびながら懸垂下降にいたった。
それにしても肩の小屋のポールはうすかたな〜。
ふびていたたいてありがたうございました。

(F平)

(9)

8/15~16 東壁ルンゼ

メンバー 山下 森

記録

8/15 徳沢 横尾の関所を突破し、20:00 横尾 B.P.

8/16 3:40 起床

4:10 B.P 発

4:25 ルンゼ 押出し

5:00 T4 取付 先行 2 party's 順番待ち

5:30

6:20 T3 着

6:45

1P 40m T4 1 2P 40m A2 2Pで3時間もかかったため、下降することに決定。

10:00 下降開始) T7 サイレン 2P 40m x 2

11:00 T3

12:30 T4 尾根取付) T7 サイレン 2P 20m x 2

↓
サマ天へ。

感想

先行パーティーもいず、天気も良く、体調も上々なのに完登できなかったのは、ひとえに実力不足のためのものであろう。

人工をもっと練習して、是非再度挑戦したいと思っております。(だから2度と行くか!!)

(10) 唐沢岳幕岩

△ 船 森

8/18 ~ 20

18日 昼すぎ 松本と出て

◎ ~ ◎ 16:00 七倉 発

18:30 大町の宿 まで

がすのため 大町の宿の登り口がわからず 河原でピク

19日 7:00 BP 発

① → ◎ 7:10 大町の宿

8:40 大凹角 取付

下部 4P

コ=7 60m

上部 2P

11:20 終了

25m = 1

50m = 4

) 懸垂

B:45

大町の宿

大凹角の取付まで 急な草付を強引にのぼる。

上部4m = 1 は こけむして 12.75m のぼれた。

下降は 25m 空中けんすいぼいの 2P

あとは 急な 樹林帯 と下る。

20日

6:00

宿 発

①

取付口がわからず うらうら。

明峰 1P のぼり、けんすい

結局 下山 する。

“Where is 大町の宿？”

その日も暮れのかけてきた。二はB沢 or C沢。2人ともつかれて
ほい。河原の岩小屋もどきでねることにする。どこにも岩なんの
見えへんし。とツツツ言ながらメシを食う。夜天のくせでつ
火をたいてしまう。次の日の朝は快晴。正面にへんな岩場
が見える。私は「二んならよ」のんは幕岩ちやうで。30分
でぬけてほうね」と森に言ったが。まじくそれは幕岩で
あたのど尺。5分も沢を登るとウエゴが出てきて夕祝の
のかつた大町の宿に到着。幕岩ノートを見て。2人で大笑い
してから。大凹角へ。私のまそうでは。30分たつたが。やはり
2時間もかかてほう。右稜の頭めい見た丈ハング帯はまじ
まじく。京都や広島を登るやつらは。まじがいたと感じた。
次の日はS字へ。大凹角 2時間ちやたら。S字は4時間もな
と予想していたが。みごくに取付まがわからず。とりあえず明峰へ
登る。A1のピッチがヤケにしどあつた。森を苦しんで登ってくる。
2人とも帰ろうということになり。けんり。私が頭ぐらいの岩を
おとしてしまひ。新品の50mザイルは40mになてほいしました。
すいません。やはり幕岩は大きあつたです。ハ。大町の宿の幕岩
ノートは最高にふもしろのどみんな見に行くとハいよ。

(角谷)

(11) 日高縦走

7/12 ~ 7/25.

Member: La 中村(司), 瀬川, 豊田, 作道, 内田.

7月17日 (木)

4:00	◎	ヤラギリ山荘麓
4:43	◎	休けい
5:43	◎	休けい
6:50	◎	1259ピートの手前
8:04	◎	休けい
9:07	◎又	1301ピートの手前のピート
10:14	◎又	1316ピートに越えた所
11:20	◎又	休けい
12:25	◎又	頂上直前
12:50	◎又	ヤラギリ岳山頂
13:56	◎又	休けい
15:00	◎又	Cカル (T.S.)

利点があるので荷物も重く、登りが多からなくなった。最後の登りはニセピートが多く、どっと疲れてしまった。ガスばかりで景色もいまいちだった。Cカルの天陽は、稜線から見える所より一段下のほうが水場も近く、地面も良かった。

7月18日 (金)

光 殿

7月19日 (土)

4:20 ◎ガズ C.カール 発
5:15 ◎ガズ 休けい
6:37 ◎ガズ 休けい
7:52 ◎ガズ 休けい
9:05 ◎ガズ 休けい
10:20 ◎ガズ 1600km
11:59 ◎ガズ 休けい
13:05 ◎ガズ (1569m) 丁の前
(14:00) ◎ガズ 夕辰、Z.T.S. 決定

作道がへばったため、ヤロスラフ岳までいけず、途中の
4天くぐりのスペースに強引に6天を張った。今日の
行程のブッシュは無奈苦痛だった。多少程度は
濃密だったから、山をくぐるのに越えていた。キビシイ！
ガズもひどくマッピングが難しく、現在地もよく
分からなかった。早くだけだった。

7月27日 (日)

- 5:00 ◎ 下見
- 5:35 ◎ 休
- 6:45 ◎ 休
- 7:35 ◎ 遺跡の調査
- 1' 2所生か水汲みに行く。
- 8:30 ◎
- 9:13 ◎ 又 ヤオロマ、ア岳頂上
- 10:40 ◎ 又 1752ピークの山をピークを越した所
- 11:40 ◎ 又 休
- 12:25 ◎ 又 コシカク山頂上
- 12:45 ◎ 又 1719ピーク (7.5)

朝の霧は、世帯の床の上に 雨の如く降り、
ヤオロマ、ア岳頂上は 広い大場であった。コシカクは
蒸気を見ることが、仙居での道と比べると 橋段
に良いので 意外に早く行ける。天気が不
安定で 互に 危険。1752ピーク、1719ピーク
を見ることが出来た。 残念。この日、7方、
霧が非常に 晴れて、1839ピーク、1600ピーク、
1823ピーク、カシコウチカラ山など 見ることが
出来た。 霧が 時々と 置く。1719ピーク、1719
日見は、カ、コシカク

7月21日 (月)

4:05 ◎ T.S. 麓
5:05 ◎ 休けい
6:15 ◎+R 休けい
7:05 ◎+R 1643 ピーク
8:20 ◎+R 休けい
9:10 ◎+R 1823 ピーク

? ニに 予定Eを張る予定E, Eが狭いので
12:00 瀬川と 豊田とが 偵察に行く。
12:25 ◎+R 1737 ピークの 少下. (T.S.)

今日は ちよちよ 楽な行程だった。1643 ピーク
の予備では 新しい 72 の 7 が あり、かなり
強い (予) の 匂い が 漂って おもむき
おま ぽりぽりと 感じていた。日高では じ
まの こと なの だろ う? 1823 ピークの 天場の
4 天が めりめりぐらぐらで 6 天は とも 無理
だった。僕達に分かっている 天場は 品次
カール。けれども、予定では 行けなうに 存いので
偵察に行くことにした。見つけた所も 道が かなり
広くなっているだけの所だ。ほんとうに ぎりぎり
E, E. 101. 今日も 夕方は 又々 晴れ
かみ 江 774 カマシ山, ピラミッド ピーク 等と 見
見ん、非常に カッコ良かった。最高!

7月22日 (火)

4:10	①	T.S. 苑
5:24	①	1573の次のピラミッド
6:50	①	1807ピラミッド
7:55	①	ピラミッドピラミッド
?		天気が良いのでのんびり
8:54		
10:01	①	休けい
10:30	① 快晴	カミエウラチカラシ山山頂
?		天気が良いのでのんびり
11:25	① "	
12:06	① "	1903ピラミッドの付近
13:22	① "	
13:45	"	9の沢カール

今日は日高へ入って初めて晴れた。雨とガスと雨だったのでもう少かった。たまたま2回も長い休けいをしてもらった。イカサマ、トヨタベツヤ、セツ沼カールなど、最初の予定のコースが見えた。残念だがあんなに思う反面、こころが良かったという気持ちもあつた。日高は厳しいなあ。

7月23日 (水)

沈殿

7月24日 (木)

- 5:40 ● T.S. 苑
- 6:25 ● 1回目のFixをほろ (高巻まで)
- 7:13 ● ワラジをほく
- 11:00 ◎ 草 滝の上
- 11:30 ◎ 草 2回目のFixをほろ
- 12:00 ◎ 草 3回目のFixをほろ

- 16:00 ◎ ラジカを置くために休むが受信できず
- 16:30 ◎ 九上退会合
- 17:00 天候決定

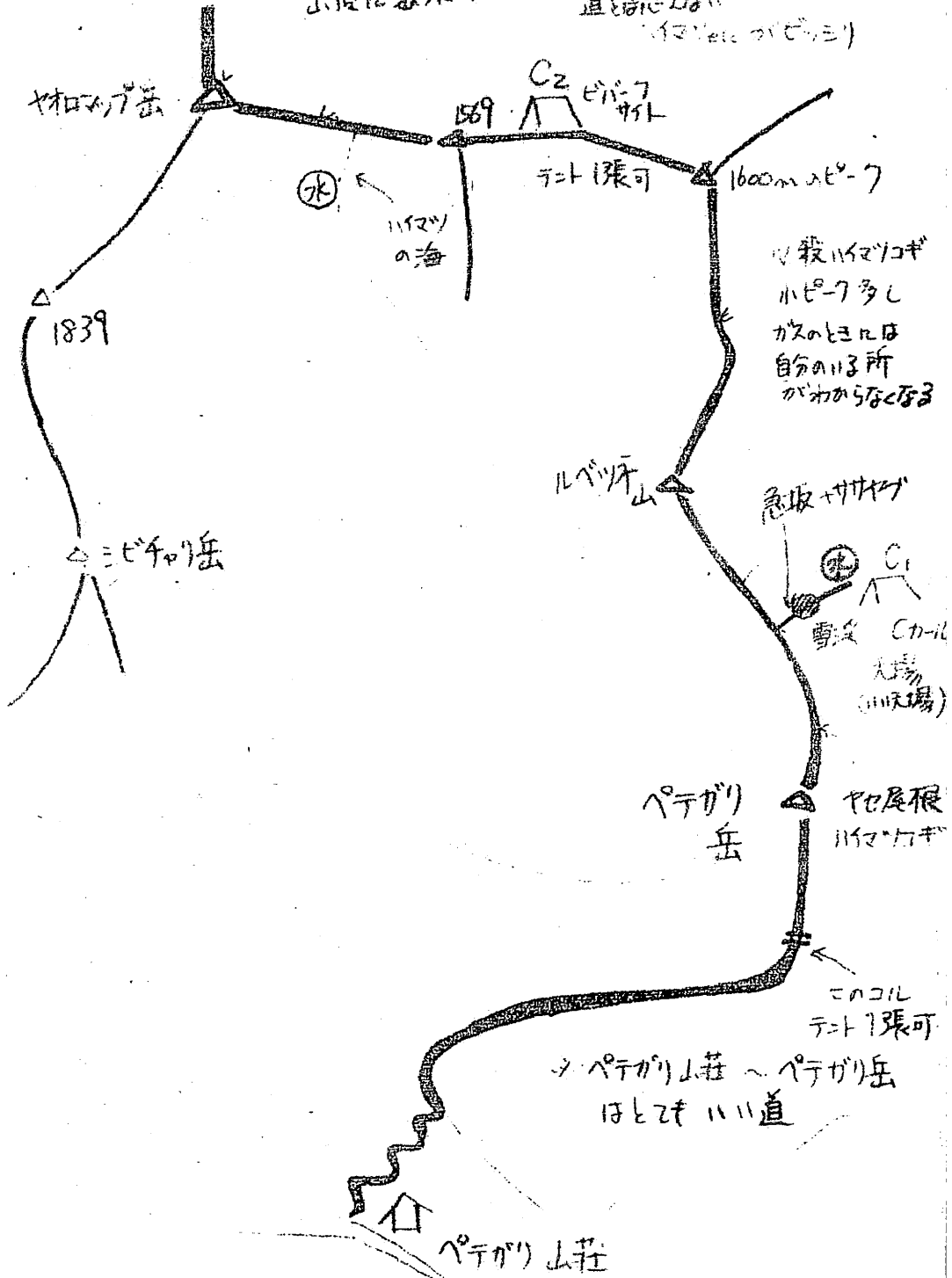
7月25日 (金)

- 5:20 ● 偵察隊 T.S. 苑 退会合まで
- 6:55 ● 偵察隊 T.S. 着
- 8:00 ◎ 全員 T.S. 苑
- 8:45 ◎ 記念退会合
- 10:10 ◎ 637 付近
- 11:40 ◎ 7の退会合

今日は昨日よりは歩きやすかった。北は昨日より多かった。
本当に、やっと山から下りることができたという感じ。ほら、といた。こんな感じは初めてだ。
日高は本当にすごい山だ。工事の車に乗せてもらっても、なかなか山から離れられない。
自分達がどこに山奥にいたかよく分かった。
今回の山行はとて心強くなった。残りが思っていたのは残念だけど、それもまたいい経験になったと思う。また、北大の山岳部、ワラジ、アール部、柴野さん、福井さんなどのみんなのおかげで成功したと思う。みんな大変お世話になりました。どうもありがとうございました。-26-

高嶺花田 その1
 山頂に数乗可

道と思えない
 (何ヶ所かベニシ)



(12) 越後三山～尾瀬縦走

7/18 ~ 7/24

Member: △ 安田, 中村(9), 小野, 加藤(靖), 一瀬, 下平

7/18 11:26 ① 松本駅

電車移動

17:30 ② 浦佐駅 スター・ミュージックパーク

* 浦佐は新幹線が停まるのに田中角栄の銅像以外は
何もなげんな町でした。

7/19

5:30

●

浦佐駅

6:30

八海神社 聖宮

7:50

◎

霊泉小屋

12:10

①

女人堂

14:00

◎

薬師岳 (頂上直下に鎖場)

14:30

千本松小屋 TS

* 天場についてから雨が降り始め、これからの恐怖の
山行を予感させました。

7/20

雨と濃ガスにより泥殿

7/21

4:40	ガス	TS
8:00	●	入道岳
10:00		荒岳
13:25		木ノノヅキ
18:40		御月山
19:00		御月山と中岳の鞍部 TS

* 登山道は整備されおらず道の両端に木がみだりに
 生えてキスリングの歩行は苦勞した。4時間おのれは
 一年生はみんな死にそうになつてゐた。

7/22

8:00 小雨 TS
 誤つて道の右側の小池を登つてしまひ、せつり
 ヤナギを登らされる。頂上の下200mでヤナギから脱出する。

11:55	●	中岳小屋
13:20	ガス	1768 ピーク
14:40	風強し。坂	兔岳
14:50		TS

* 兔岳から200m程もどいた平らな草原に設営する。
 石がなく、木を切つてヤナギを作った。
 今日まで地獄の様なヤナギを登つてしまつた。

7/23

ガスが濃く 沈殿

安田さん、中村(9)さんが偵察に行き大水上山のむこうは、
 ブッシュがまじく歩行困難と判断し、明日中岳から
 駒ヶ岳とポストにし、あつてエスケープする事に決定

7/24

4 = 50 02 T.S

6 = 50 池段

天気回復が望めずエスケープすることになる。

11 = 25 ① 十字峡

十字峡から工事現場の人の車、バス、電車と乗りつぎ松本へ。

* 下りで加藤がヒザを打つなど最後までアジテートの多い山行だった。一年生3人と、これは体力的にミゼアで天候も悪く、苦しい山行だった。尾瀬にいけないのが残念です。(記: 下平)

— 越後の思い出 —

7/2. 10 = 20 AM 僕は苦しみの中にあえぎながら口ずさんでいた。

「幸せは、歩いてこない。だから歩いて行くとだよ♪」

絶悪のぬまがり 竹のヤブの中で雨に打たれながら、かのように

ノロノロと前進していく。『一日一歩、三日で三歩、三歩進んで

二歩上がる』 前の者が引、はた枝が顔にあたる。

一歩登るとはすべり落ち、また三歩前進する。開けた、三

時間にわたるヤブとの格闘のすえ、せと登山道へ出ることに

ができた。

せ、はり 水前寺清子は「い」な〜!

(下平)

昭和 61 年度

夏山個人山行報告書

信州大学山岳会 SAC

印刷 松本 松本市旭子一丁目

発行 昭和 61 年 10 月 20 日

編集 名無しのコイケ

